

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		5,445	t-CO ₂
（温① 二室を 酸効除 化果く 炭ガ 素排 換出 算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		5,445

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

(1) 温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績				
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
温室効果ガス 総 排 出 量		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂	t-CO ₂
削減率（対 基準年度）			%		%		%	%
温室効果ガス みなし総排出量			t-CO ₂		t-CO ₂	t-CO ₂
削減率（対 基準年度）			%		%	%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度			
原単位あたりの 排 出 量	0.1117	t-CO ₂ / m ³	0.1083	t-CO ₂ / m ³	0.1217	t-CO ₂ / m ³	0.1223	t-CO ₂ / m ³	0.1297	t-CO ₂ / m ³
削減率（対 基準年度）		3.0	%	▲ 9.0	%	▲ 9.5	%	▲ 16.1	%
原単位あたりの みなし排出量			t-CO ₂ / m ³		t-CO ₂ / m ³		t-CO ₂ / m ³
削減率（対 基準年度）			%		%		%

(2) 進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

インバウンドの増加。酷暑日の増加などでエネルギー消費が増えた。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
 備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。
 備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
一般管理/エネルギー使用等の把握及び管理	<ul style="list-style-type: none"> ・組織横断的な委員会を設置し、組織目標を設定 ・エネルギーの使用状況の把握、計測、分析、記録 ・使用実態の見える化(部門別) 	継続する	エネルギー報告会を月1回実施、部門長に使用状況を開示し省エネを図っている。
省エネルギー・省資源の推進/冷暖房	<ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房の温度設定、外気の取入量等、運転時間の徹底 ・全客室二重窓設置完了し空調負荷の軽減。 	継続する	販売していない客室の空調停止などこまめな節電を行った。
省エネルギー・省資源の推進/冷暖房	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限りVベルトは省エネベルトへ交換する ・自動販売機の不要な照明は消灯 ・デマンド抑制装置を導入し、最大需要電力の抑制 	継続する	ベルトも音が鳴ったらすぐに交換し省エネに努めた。
省エネルギー・省資源の推進/冷暖房	<ul style="list-style-type: none"> ・冷温水ポンプをインバーター制御 	継続する	出来るだけ、インバーター制御を行った。
省エネルギー・省資源の推進/昇降装置	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員EV2UP3DOWN運動の啓蒙 ・エスカレーターは宴会場の使用状況で運用 	継続する	EV前に啓蒙活動のポスターを設置。
省エネルギー・省資源の推進/OA機器	<ul style="list-style-type: none"> ・退社時の消灯、PCや事務用品の主電源を切り待機電源の抑制を行う 	継続する	事務所も照明をLED化し消費電力を抑えた。
自動車利用における取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・急発進、急加速をせず、アイドリングストップの確実な実行エコドライブを推進 ・タイヤの空気圧など、こまめな点検・整備 	継続する	鍵の管理箱の前に、啓蒙ポスターを設置した。
水資源の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ・1,2階客用トイレを更新 節水型トイレの採用 ・節水コマの設置 	継続する	23年度、3階客用トイレ迄更新完了。今期は3・4階従業員トイレの節水化を実施した。
廃棄物の排出抑制	<ul style="list-style-type: none"> ・両面コピー、裏紙利用による使用量の削減 ・共有フォルダの利用、ペーパーレス会議 	継続する	web会議の開催を増やした。

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 3 年度目（令和 6 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

--

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

--